

～ 先輩からの声 ～



京屋 佳歩（保健師）

2019年入庁

中央保健センター

志望動機

高校生の頃から健康を支える保健師に憧れ、地域住民と近い距離で関わっていきたくて考えていました。人口規模が地元と似ていること、また自然豊かで歴史ある宇陀市に魅力を感じ、ここで保健活動をしたいと思いました。

担当業務

保健センターで母子保健を担当しています。主に、事業は乳幼児健診、育児教室、予防接種説明会等があります。直接自宅に訪問し赤ちゃんの体重を測定したり、学校の健康教育に携わったりもします。コロナ禍の今は、説明会や育児教室をオンラインとする等、感染対策を考慮しながらどう母子保健を実施していくか考えることも重要な仕事の一つです。

やりがいについて

母子保健を担当するにあたって、私は育児経験がないので保護者から学ぶことが多い、保護者の育児不安や悩みに対して上手にアドバイスできないことがあります。しかし、悩みや不安を一緒に考えることで、保護者の不安や少しでも解消したり、頼ってもらえることがやりがいにつながっています。まだまだ経験が浅く模索しながらですが、住民に寄り添い信頼関係を築けるよう頑張っていきたいと思っています。

市職員のイメージは

公務員は、硬いイメージがあるかと思いますが、入庁後はイメージが変わりました。よりよいまちづくりや住民サービスのために常に前向きで、自主的に仕事をしていると感じました。また、他部署に同期がたくさんおり、交流できるのがとても楽しいです。

受験者に向けて

先の見えない不安でいっぱいかと思います。コロナ禍では、なおさら、様々な苦労があるかと思います。しかし、今の苦労が必ず今後役に立つので、体調を第一に頑張ってください。

宇陀市はとってもいいところです。私は北海道出身で、就職して初めて関西に来ました。人が暖かく、きれいな自然の景観があったり、歴史あるお寺や街並みがある宇陀市が今では大好きになりました。立地的にも、関西を楽しむのにとっても良い場所だと思います。ご縁がありましたら、宇陀市で会える日を楽しみにしています。